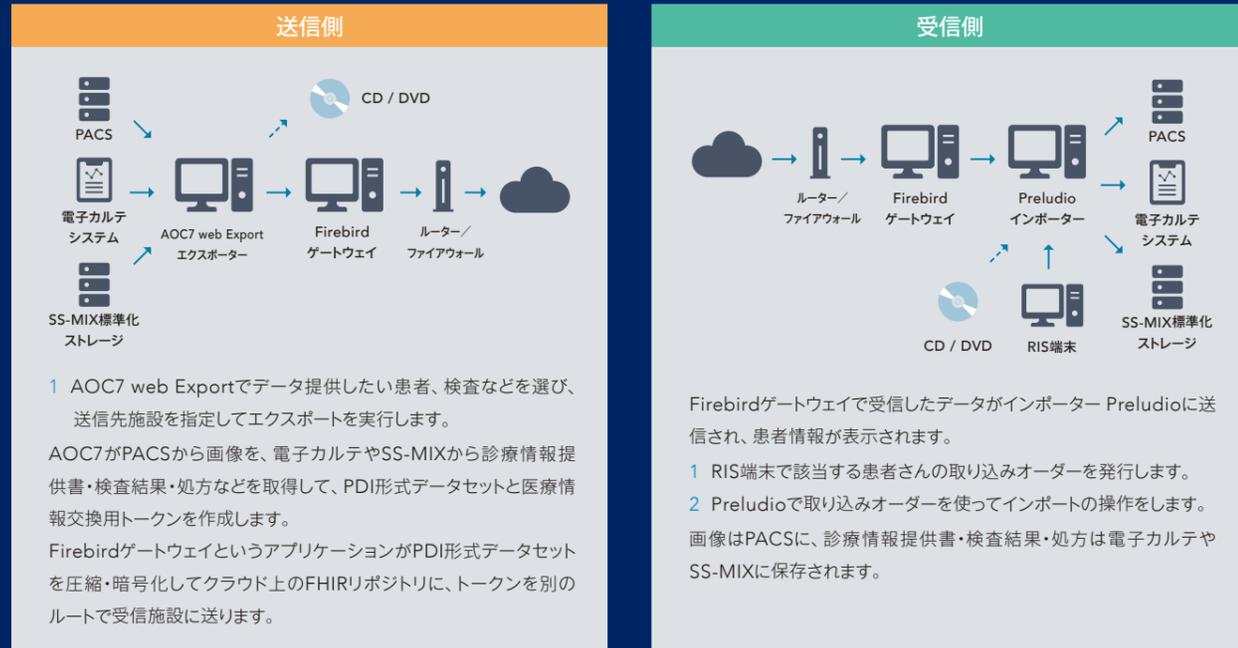


システム構成例



*院内システムがインターネットに接続できない場合はUSBメモリを使う構成も可能です。

Firebirdのメリット

- 1 CD、DVDを作成せず、印刷物も必要ないので患者さんをお待たせしません。
- 2 患者さんに何も渡さないで、何かを紛失してデータが漏洩する心配もありません。
- 3 従来のCD、DVDを使った運用との併用が可能で、業務や操作の流れもほとんど変わりません。
- 4 平成28年度に新設された診療報酬「検査・画像情報提供加算」(送信側)「電子的診療情報評価料」(受信側)の算定要件を満たします*。
- 5 高価な設備の導入は不要。低コストで導入・運用できます。
- 6 標準規格を利用することでスムーズな情報連携が可能です。
- 7 CD、DVD、紙など物理的なメディアを使わないので、消耗品の管理や機器の保守の負担が減らせます。

*画像と検査結果の両方の提供が必要です。

 Array Corporation アレイ株式会社

151-0053 東京都渋谷区代々木3-42-10
tel. 03-3320-3911 sales@array.co.jp www.array.co.jp

© 2023 Array Corporation
Array Corporation、Array Corporationロゴは、アレイ株式会社の商標です。
この資料に記載されている会社、製品、サービスの名称は一般に各社の商標または登録商標です。
この資料の記載内容は2023年11月現在のものです。
この資料に記載された内容、製品の仕様などは予告なく変更することがあります。

cn15010306

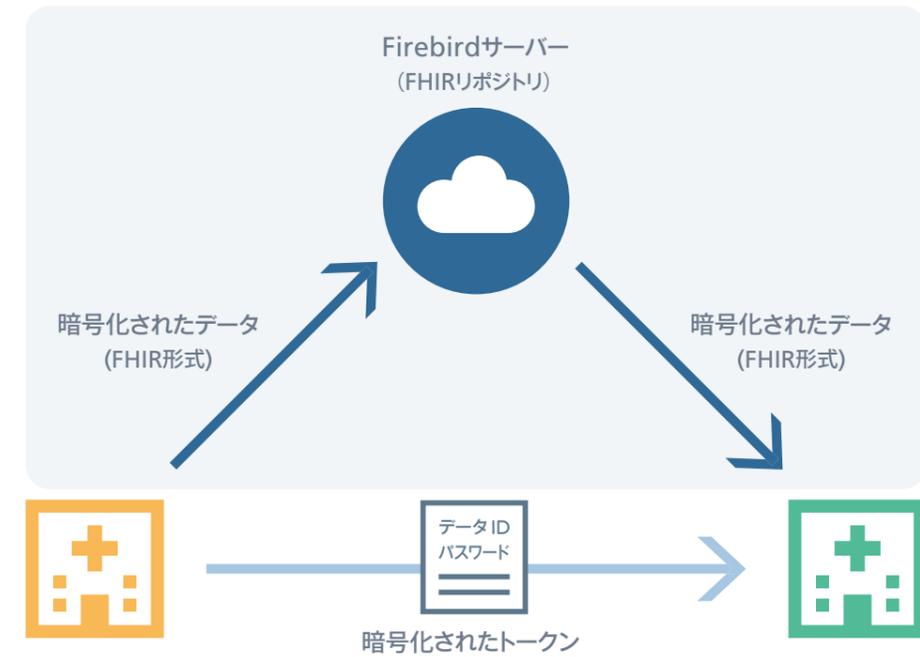
ファイアバード
Firebird

医療情報・画像クラウド交換サービス

 Array Corporation

「Firebird」とは インターネットを使って、 医療情報を他施設に 安全・迅速に提供するサービスです。

- ・ Firebirdは日本IHE協会が提唱するcloudPDIのしくみを使ってデータを転送します。
- ・ 医療情報トークン(ISO/TS 22691)によってデータIDとパスワードを伝えます。



送信側

送りたいデータと送信先を選択して、送信を指示します。

- データIDと暗号化パスワードが生成され、トークンが作成されます。
- データをパスワードで暗号化して、データIDとともにクラウド上のFHIRリポジトリにアップロードします。
- トークンを送信先の公開鍵で暗号化し、データとは別の経路で安全に送信先に送ります。

受信側

- トークンを秘密鍵で復号し、データIDとパスワードを取り出します。
- データIDを使ってFHIRリポジトリからデータをダウンロードします。
- パスワードでデータを復号します。

データを院内のシステムに
インポートします。

Point 1 インターネットで

ビジネスで、個人で、欠かせないほど身近で安価になったインターネット。そのインターネットを使って医療連携に必要な情報提供を実現するのがFirebirdです。CDやDVDなどの物理的なメディアを使わないので、患者さんの負担が減り、消耗品の管理や機器の保守もぐっと楽になります。

Point 2 安全に

インターネットで心配なのはセキュリティ。Firebirdはインターネットを安全に利用するためにさまざまな対策を取り入れています。たとえばインターネットで送信され、クラウド上のFHIRリポジトリに送信・保管されるのは暗号化されたデータだけ*。トークンは別のルートで受信施設に送られます。万一通信経路やFHIRリポジトリが攻撃を受けても十分安全です。

Point 3 標準を使って*

医療機関によってシステムもさまざま。医療機関どうしが情報連携をするには、「標準」を利用することが重要です。FirebirdではHL7 FHIR、DICOM、IHEなどの国際標準や厚生労働省標準のSS-MIXを利用します。またFirebirdで利用している医療情報交換のためのトークンの仕様は、ISOによる国際規格化が進められ、ISO/TS22691:2021として発行されています。

Point 4 低コストで

地域連携システムは大がかりなものも多く導入の準備も大変で、費用も高くなりがちです。Firebirdは従来のCDやDVDを使った情報提供と同じしくみを使い、運用フローの変更もないため、準備も費用も抑えられます。高価な設備を導入したり、数年ごとにシステムを更新する必要もありません。必要なものを必要なだけ利用できるので、運用にかかる費用もリーズナブルです。

送信できる情報



*Firebirdは日本IHE協会が仕様を策定したcloudPDIを利用しています。